

## 2024 年度事業報告

### 【事業に関する報告】

#### I 子ども専用電話・オンラインチャットの開設事業

##### 1 電話受信状況

専用電話の開設日は、平日の毎週オンラインチャット実施日以外の月・水曜日に午後4時から9時までの時間帯で電話回線1回線にて実施しました。開設日数は93日中49日(昨年度は82日)、総着信数1,470件(同2,340件)、会話成立は416件(同600件)で実施日が減少した分、件数も減少しています。1日当たりでは、着信数が30件(同28.5件)で、会話成立数は8.5件(同7.3件)で、会話成立率は28.3%(同25.6%)でした。

(受信内容は、「資料集」に掲載)

##### 2 オンラインチャット受信状況

オンラインチャットの開設日は、平日の第1,3月曜日と第2,4水曜日に午後4時から9時までの時間帯でパソコン受け手2台稼働体制にて実施しました。開設日数は93日間中44日(昨年度は33日)、割当て件数1,733件(同1,191件)、対応件数665件(同502件)、会話成立は629件(同459件)でした。1日当たりの対応件数は15.1件(同15.2件)、会話成立数は14.3件(同13.9件)、会話成立率は94.6%(同91.4%)でした。

(受信内容は、「資料集」に掲載)

#### II 研修事業

##### 1 受け手 第20期インターン研修

受け手第20期インターン研修は、4月2日(火)～6月18日(火)の期間で計6回開催。研修生3名がオンライン Zoom にて子どもの現状についての講義の受講や電話ロールプレイ等を行いました。

(研修開催日時と内容は「資料集」に記載)。

##### 2 第21期 受け手養成研修

第21期受け手養成研修は5月20日(月)～6月24日(月)の期間で受講生の募集を行い、9名の方から応募がありました。研修は7月19日(金)に開講式を行い、12月13日(金)までの期間で計9回実施しました。(オンライン Zoom にて開催)。研修生募集に当たっては、北海道新聞をはじめ地元の団体の協力をいただきました。

(研修開催日時、内容は「資料集」に記載)

##### 3 受け手 21期インターン研修

受け手21期インターン研修は、2025年1月18日(土)より第21期受け手養成研修を修了した研修生4名を対象に、対面及びオンライン Zoom にて電話相談対応・チャット相談対応のロールプレイ等を行いました。(一部受け手継続研修との合同開催あり。)

(研修開催日時、内容は「資料集」に記載)

##### 4 受け手継続研修

2024年度受け手継続研修は、6月28日(金)～2025年3月21日(金)の期間でオンライン Zoom や対面研修にて全6回開催しました。

受講者については年度当初31人で開始しましたが、8月以降に受け手として認定された20期生計2人が合流しました。

(研修開催日時、内容は「資料集」に記載)

##### 5 20期認定式及び全体交流会の開催

6月28日（金）札幌市社会福祉総合センターにて受け手・支え手、新規受け手認定者、運営関係者等計16名が参加し、新規受け手の認定及びチャイルドラインほっかいどう全体の意思疎通や情報共有を図りました。

### Ⅲ 広報啓発事業

#### 1 「2024年度カード等全道配布事業」

チャイルドラインの電話番号（フリーダイヤル）や開設時間などを記載したカードを、道内の小学校、中学校、特別支援学校に通う子どもたちに、10月から11月にかけて約17万6千枚配布しました。ポスターも小中学校、特別支援学校のほか、高校と各市町村教育委員会、札幌市児童会館（小学校併設のミニ児童会館を除く）にも配布しました。

カードの配布対象は、小学生は1～3年生と中学生は1年生、特別支援学校は高等部も含め全学年としました。昨年までは支援団体から小中学生全学年分の贈呈を受けていましたが、10年続いたことを区切りに支援のあり方を検討したいとの申し出もあり、当会としてもカード以外の周知方法など今後の検討課題としました。

ポスターは各学校1枚とし、児童生徒数が500人を超える学校には2枚配布しました。

配布に当たっては、北海道教育委員会と札幌市教育委員会に事前に協力を依頼し、市町村立校については道内179市町村教育委員会に送付し、道立、国立、私立校には直接送付しました。

発送作業は、国立・私立の小中学校と特別支援学校のカード・封入作業と高校、児童会館へのポスター封入作業は当会スタッフで行い、札幌市を含む道内179市町村教育委員会分の封入作業は社会福祉法人HOP・障がい者支援施設ホップに委託しました。

また、2023年こくみん共済coop地域貢献助成に「2024年度カード等全道配布事業」として決定され、カードやポスター、発送にかかる経費の助成を受けました。

（カード等の配布枚数は「資料集」に記載）

#### 2 チャイルドライン「2024夏の全国キャンペーン」

子どもたちの心が不安定になる夏休み明け前後の時期に、全国のチャイルドライン実施団体が集中して子どもの声を受けとめるキャンペーンの実施にあたり、夏休み期間中も子どもが集まる札幌市の児童会館（小学校併設のミニ児童会館を含む約200館に、「聴かせてほしい あなたの声」のポスター（A3版）を館内に掲示してもらいました。各館への発送は8月7日。

なお、ポスター購入費や郵送費などの経費として、公益財団法人北海道地域活動振興協会のボランティア活動支援事業助成を受けました。

## 【運営に関する報告】

### I 会議の開催状況

#### 1 総会の開催

##### 2024年度（第23回）通常総会

2024年6月21日に札幌市ボランティア活動センター研修室Aで開催。正会員数121人のうち本人出席14人、委任20人、書面議決38人により2023年度事業報告、同活動決算報告、同会計監査報告、2024年度事業計画、同予算、役員選出のすべての議案を可決しました。

#### 2 理事会

開催状況は通りです。

第1回 2024年5月28日 札幌市ボランティア活動センター研修室A

- ・電話やチャットの担当スタッフ（受け手、支え手）への交通費（みなし交通費）支給について
  - ・2024年度通常総会の開催について
- 第2回 2024年9月24日 札幌市ボランティア活動センター研修室B
- ・理事会へのオブザーバー出席の件
  - ・代表理事、常務理事の選定と事務局長の任命について
 

（代表理事）	川口谷 正	田辺 毅彦	
（常務理事）	澁谷 千秋	早崎 悦子	水口 良子
（事務局長）	水口 良子		

### 3 運営委員会

開催日と主な協議事項は以下の通り。開催はすべてオンライン会議 ZOOM で行いました

- 第1回 2024年4月25日 ・2024年度通常総会の開催について等
- 第2回 2024年5月24日 ・「みなし交通費」の支払について等
- 第3回 2024年7月16日 ・第21期受け手養成研修開講について等
- 第4回 2024年8月20日 ・運営委員の選出について等
- 第5回 2024年9月17日 ・カード等の全道配布について等
- 第6回 2024年10月15日 ・支援センター「全国運営者会議」の報告等
- 第7回 2024年11月19日 ・支援センター25周年記念フォーラム及び運営者意見交換会への参加について等
- 第8回 2024年12月17日 ・インターン研修計画について等
- 第9回 2025年1月21日 ・受け手アンケートの実施について等
- 第10回 2025年2月18日 ・運営委員会規則の改正について等
- 第11回 2025年3月18日 ・支援センター臨時総会について等

### 4 チャイルドライン支援センター・エリア関係

#### ●支援センター

- ・2024年6月8日 2024年度通常総会（欠席により書面表決書提出）
  - ・2024年8月22日～9月4日 チャイルドライン「2024全国夏のキャンペーン」
  - ・2024年9月2日 オンライン茶話会
  - ・2024年12月7日 運営者意見交換会
  - ・2025年1月18日 チャイルドライン25周年記念祝賀会  
チャイルドライン25周年記念フォーラム（中野）
  - ・2025年1月19日 全国研修（中野）
  - ・2025年3月15日 臨時総会（欠席により書面表決書提出）
  - ・2025年3月19日 データベース改正説明会（水口）
- <支援センター助成・担い手増員のための研修（自死予防）支援事業>
- ・2024年10月13日 「私の性教育出前講座について」  
講師・長島香織さん（勤医協札幌病院産婦人科医師）
  - ・2025年2月20日 「依存症の理解と低年齢層のアクティクシオン問題について」  
講師・田辺 等さん（旭山病院精神科医師）
  - ・2025年2月22日 「『セクシャリティ』を知ってみよう～LGBTQ2+等について」  
講師・中谷衣里さん（NPO法人L-PORT 北海道代表理事）

#### ●北海道・東北エリア会議

- ・2024年10月18日 エリア会議（田辺、渋谷）
- ・2025年2月8日 エリア会議、研修（田辺、渋谷）

## II 会員等の状況

2024年度中の正会員は、受け手第20期生などの新加入もありましたが、最終的には10人減となりました。各会員の増減状況は下記のとおりです。退会者の主な理由は、会費未納（2年間）です。

## 【2024年度各会員数の状況】

	2024年4月初	2025年3月末	加入・退会者	増減
正会員	121人	111人	(加入) 5人 (退会) 15人	10人減
一般会員・個人	17人	17人	(加入) 1人 (退会) 1人	増減0
一般会員・団体	16団体	16団体	(加入) 0 (退会) 0	増減0
サポート会員	47人	47人	(加入) 3人 (退会) 3人	増減0

### Ⅲ その他

#### 1 設立20周年記念誌の発行

2023年10月29日に開催した「設立20周年記念講演会～子どもたちに寄り添い続ける」の講演内容や、お祝いのメッセージ、記念事業の協賛団体・個人を掲載した記念誌600部を発行し、会員をはじめ協賛団体・個人、支援団体のほか全国のチャイルドライン実施団体にも配布しました。

発行にあたり、理事を中心に編集委員会を設けて作業を進めましたが、講演やシンポジウムのテープ起こしや編集に時間がかかり、記念誌の納品は5月末となりました。

#### 2 「みなし交通費」の支払について

5月28日開催の理事会で、電話とチャットを担当する受け手・支え手に対し、「みなし交通費」として500円を支払うことを確認しました。

これは、過去の理事会でも指摘されてきたことですが、財政的な理由から実行されずにきました。しかし、ここ数年、チャイルドライン活動を支援する企業団体や個人から、交通費支払の早期実現が必要との声も高まったことを受け、2024年度から交通費の一部として担当した日毎に500円を支払うこととしました。同時に研修部や電話部など各部の会議や作業など実施した場合も同額を支払うこととしました。

2024年度の支出額は約22万円で、今後は寄付金などの財源確保など取り組んでいきます。

#### 3 支援団体関係

(2024年)

- ・5月11日 札幌南ロータリークラブの例会（水口）
- ・4月17日 札幌レ・リアンライオンズクラブ認証状授与記念式典（川口谷）
- ・4月18日 イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン贈呈式（川口谷、早崎）
- ・7月7日 札幌母子連「さっぽろ・まなトピア研修会」（川口谷）
- ・10月5日 札幌トラストライオンズクラブ野菜収穫祭（川口谷、早崎、澁谷、伊藤元直、伊藤香織）
- ・10月16日 札幌大通ライオンズクラブ例会（田辺）
- ・10月21日 「全国中学生人権作文コンテスト札幌地方大会」（札幌法務局）表彰式（田辺）
- ・11月25日 札幌トラストライオンズクラブ関連団体「エルセブン」忘年会（川口谷）
- ・12月23日 北海道信用金庫ひまわり財団助成金授与（水口、川下）

#### 4 助成金・寄付金

2024年度の助成金、寄付金を受領した団体・個人は以下の通りです。

(助成金)

- ・こくみん共済 COOP 地域貢献助成 500,000 円 (カード等配布事業)
- ・公益財団法人地域活動振興協会「ボランティア活動支援事業助成金 30,000 円  
(チャイルドライン「全国夏のキャンペーン」ポスターの配布)
- ・チャイルドライン支援センター 20,000 円 (オンライン会議支援)
- ・チャイルドライン支援センター 105,000 円 (担い手増員のための研修《自死予防》  
支援)

(寄付金・敬称略)

◆企業・団体

(株)小林石材  
札幌市東区母子寡婦福祉連合会  
札幌南ロータリークラブ  
札幌ユネスコ協会  
札幌レ・リアンライオンズクラブ  
日本キリスト教会札幌北一条教会日曜学校  
北海道信用金庫ひまわり財団

川口谷 正  
小林 恵美子  
坂本 裕子  
志比川 薫  
長田 るみ子  
西永 和明  
古郡 曜子  
堀川 輝男  
水口 章

◆個人

天田 孝  
今川 民雄  
岩崎 順造  
太田 陽子  
大塚 三知世

三田村 百合子  
山崎 孝雄  
山本 美喜子  
好田 優子  
米村 裕  
渡邊 洋平

現物寄付をしていただいた方(団体)については、財務諸表の注記に記載しています。

## 5 募金箱の設置活動

市民のみなさんにチャイルドラインを支援してもらおうと、お店や事務所にチャイルドライン募金箱を設置しています。企画渉外部が中心になって、2025年3月末現在で13事業所(札幌10、函館2、北広島1)のご協力をいただき、募金合計額は280,249円になりました。

(募金箱設置個所は別紙「資料集」に記載)

## 6 札幌市子どものための相談窓口連絡会議(事務局・札幌市子どもの権利救済事務局)

2025年2月27日 連絡会議(田辺)

## 7 SNSを活用した相談体制の検討事業連絡会議(事務局・北海道教育委員会)

2024年10月29日 連絡協議会(田辺)

## 8 札幌法務局 人権作文コンクール審査会(審査委員に田辺代表理事就任)

2024年10月21日 審査会(田辺)

2024年12月9日 表彰式(田辺)

## 9 メディア等の取材

2024年6月12日 北海道新聞「受け手養成研修」の受講生募集(水口)

## IV 各部の活動報告

### 研修部

- ・各研修の企画運営、講師調整連絡、当日の運営等
- ・第20期認定式及び企画渉外部と合同で全体交流会の実施
- ・オンライン Zoom 及び事務局にて研修部会の実施（計8回）7月19日（金）8月23日（金）・9月5日（木）・10月17日（木）・12月13日（金）・12月26日（木）、2025年1月18日（土）・3月21日（金）

### 受け手電話部

- ・電話統計データの作成
- ・休務・辞退者及び復帰者の対応
- ・受け手誓約書の取り扱い
- ・受け手担当状況の把握
- ・電話部会議開催 5月27日（月）・7月17日（水）・10月28日（月）・1月29日（水）
- ・3月31日（月）

### 支え手電話部

- ・支え手電話部部会を9回実施し、支え手の役割について話し合う中で共通認識を深め、支え手の資質向上を図った。
- ・「チャイルドラインほっかいどう 緊急時対応マニュアル」を改訂し、運営委員会に報告した。
- ・2月27日（火）の支え手会議で新たに2名の支え手を認定し、運営委員会に報告し了承された。

### 広報部

- ・HP更新（21期受け手養成研修受講生募集等）
- ・札幌市政記者クラブに21期受け手養成研修受講生募集等の投げ込み
- ・北海道地域活動振興協会に同キャンペーン用ポスターの購入費、郵送費分3万円の助成を申請
- ・チャイルドライン「2024全国夏のキャンペーン」ポスターの札幌市児童会館（小学校併設のミニ児童会館を含む199館）への発送作業
- ・カードとポスターの発送作業（国・私立小中学校<28校>と特別支援学校<74校>、高校<285校>）

### 企画渉外部

- ・6月28日 研修部との全体研修会（交流会）
- ・イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン 店頭活動  
5月、8月、10月、12月、各11日 4回参加  
今年度贈呈額 63,600円
- ・募金箱の寄付金回収